

親水と生態系保護の機能

生まれ変わったハツ面川

- 1 親水ゾーン** (下流部590m)
〈五日町親水広場・十日町親水広場〉

周辺が住宅地であることから、親水と景観に主眼を置き、水辺空間を楽しむ憩いの場として整備されました。

- 2 多様性ゾーン** (中流部520m)
〈八日町親水広場〉

水田地帯の一部に宅地もあることから、遊歩道を主体とした整備で植栽スペースを配置し、また、橋の設置による維持管理や農作業の容易性、法枠ブロックを使った護岸等、親水と生態系保護、維持管理等、多様な機能を持っています。

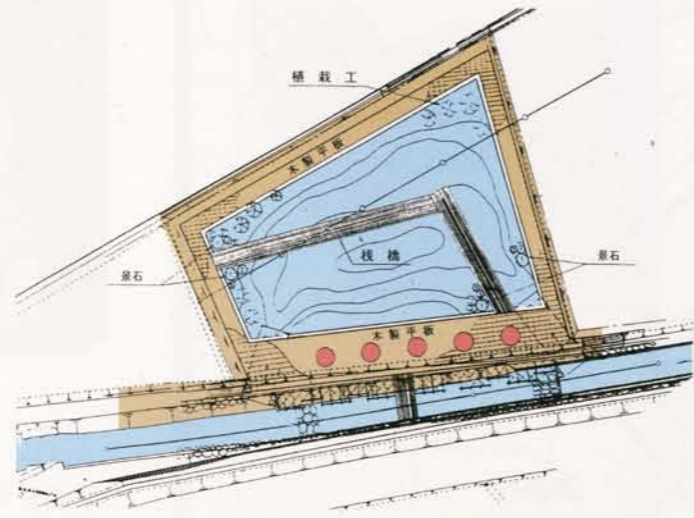
- 3 生態系保護ゾーン** (上流部237m)
〈八日町親水水路〉

一帯が水田であり、従来から生息している魚類、植物等の生態系を保護することを主体として施工されました。

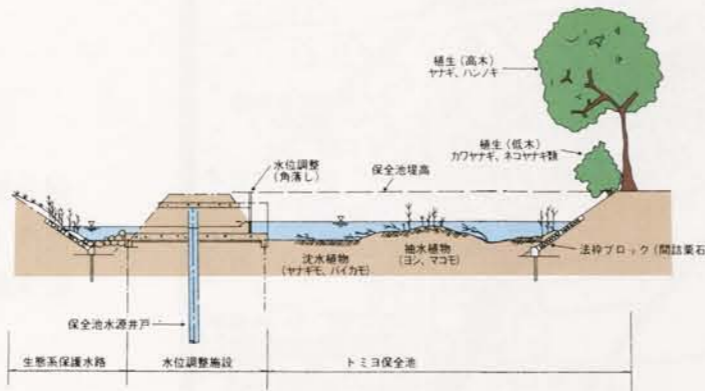
- 4 保全池** (上流部1,070㎡)
〈八日町親水水路〉

生態系保護ゾーンの中に位置し、水路工事期間中「イバラトミヨ」の退避場所として、さらに、恒久的な生態系の保護並びに観察ができる施設です。池には、水温上昇を抑制するための専用井戸があり、水中ポンプによる吐出量は0.5t/1minの能力を持っています。

保全池概略平面図



保全池概略断面図



ハツ面川地区水環境整備事業



希少種 イバラトミヨ

山形県遊佐町



山形県遊佐町

〒999-8311 山形県飽海郡遊佐町大字遊佐町字舞鶴211番地
電話0234-72-3311 FAX0234-72-3310

澄んだ空気と水、鳥海の自然。



【ハツ面川のイバラトミヨ】



【鳥海山】

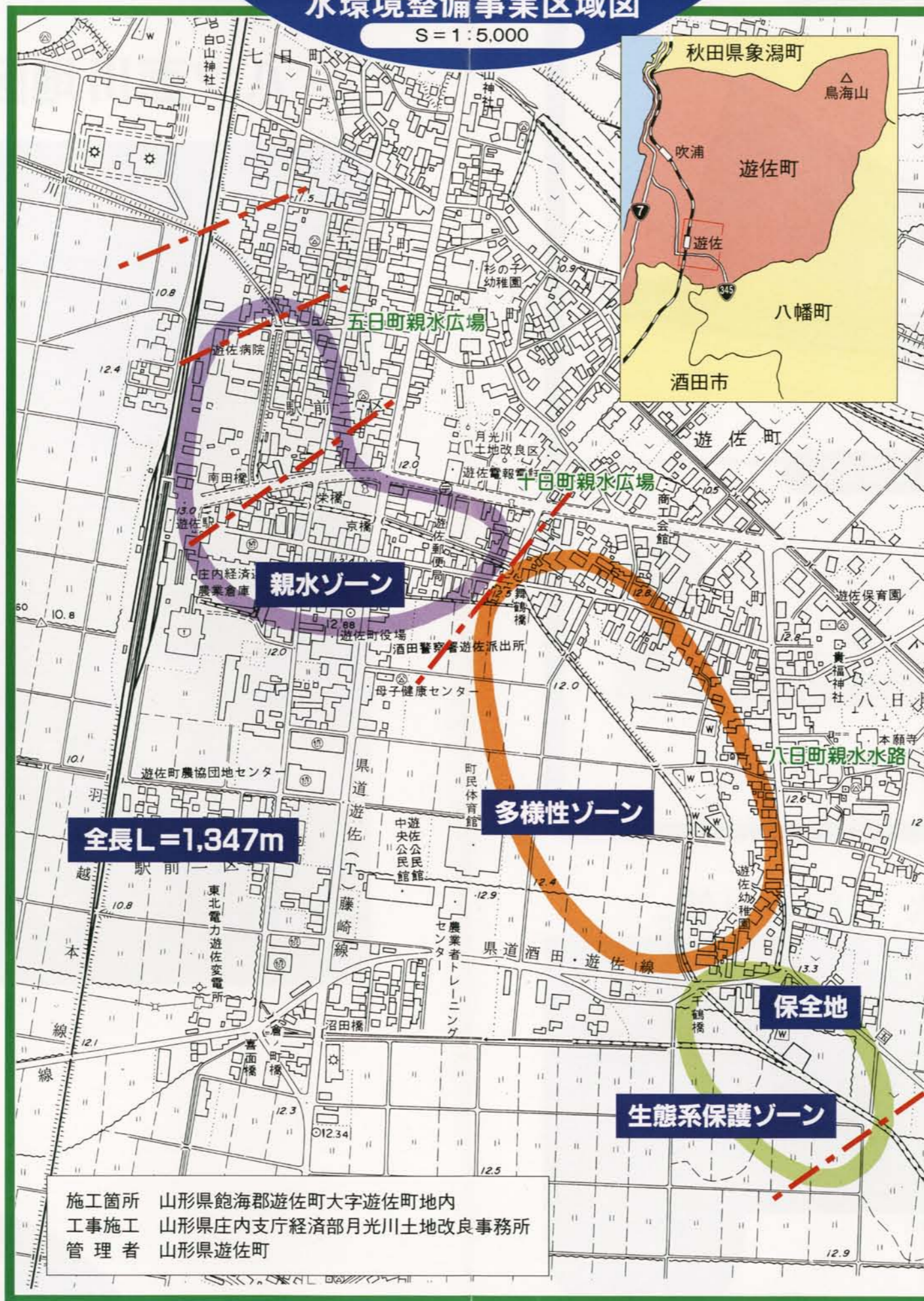


【胴腹の滝】

山形県
遊佐町

ハツ面川 水環境整備事業区域図

S=1:5,000



全長L=1,347m

施工箇所 山形県飽海郡遊佐町大字遊佐町地内
 工事施工 山形県庄内支庁経済部月光川土地改良事務所
 管理者 山形県遊佐町

ハツ面川は、町の中心部を流れ、古くから農業用水、生活用水として利用されてきました。しかし、ほ場整備事業等の実施により、用水路のパイプライン化が進み、流量は大幅に減少してしまいました。

このため、周辺環境悪化が懸念され、また、施設が著しく老朽化しているため、「水環境整備事業」の実施が計画されました。

一方、ハツ面川は、環境の悪化にもかかわらず、周辺各家庭の自噴井からの豊富な湧水流入により、冷水を好むとされる希少種の「イバラトミヨ」をはじめ、多くの魚類、水生昆虫等が生息しており、市街地近隣としては、珍しく貴重な生態系が維持された区域となっています。

このため、改修事業にあわせて、従前生態系の保全を行うことを目的として、国の「生態系保全型土地改良新技術検討調査」との連携のもとに施工を実施してきました。

整・備・後



整・備・前



灯籠流し

平成6年度より始めた灯籠流し行事も平成10年度第5回目を迎えました。三世代交流の場を与え、子供達には多くの思い出を残してやる事が出来ました。

施設概要

保全池1カ所、親水護岸1,347m、
 便所1棟、案内板3ヶ所、管理灯7基、植栽、
 安全施設、親水休憩施設一式、その他

事業費

工期●平成5年度～平成10年度

年度	事業量	事業費(百万円)
平成5年度	全体設計 1式	17
平成6年度	水路護岸工 284m	80
平成7年度	” 116m	70
平成8年度	” 318m	60
平成9年度	” 392m	100
平成10年度	” 237m	82
計	1,347m	409